

# ペシャワール会にご協力を

## パキスタンで医療協力する 中村 哲先生を支援する会

九州大学Y M C AのOBである医師中村哲先生（三六才）が、J O C S（日本キリスト教海外医療協力会）岩村昇先生をネパールに送った団体）から、パキスタンの北西辺境州ペシャワールに医療協力のため派遣されることになりました。

いわゆる「南北の隔差」の中でもパキスタンの山岳地帯、北西辺境州はさらに恵まれない地域で、中村哲先生は、そこで長期にわたってハンセン氏病を中心とする診療にあたる予定です。

先生はJ O C Sから派遣されますが、それも当然のことながら支援活動があつてこそ可能なのです。そこで福岡Y M C A理事の問田直幹先生や会員岩橋文吉先生その他多くの関係者が發起人となつて「ペシャワール会」という名の支援会を結成することになりました。

福岡Y M C Aもこの活動に全面的に協力するために「ペシャワール会」の事務局となります。趣意書には「われわれもまた国内にあつて、彼を支援することを通して、かのアジアの同胞の苦難に想いをいたし、微力を捧げたい……中村医師はわれわれの良心の分身・代弁者であります」と書かれています。

会費は年額一口千円です。会の趣意書等、Y M C Aにありますのでお問合せ下さい。

また事務局にも多くの仕事がありますのでお手伝い下さいますと幸いです。